



# 看護部通信



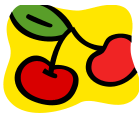
2014年 6月

新緑映える季節です。出勤時、リハセン周辺の自然に思わず立ち止まり深呼吸する毎日です。

4月1日看護部に、卒業間もないピカピカの新人看護師2名が採用となりました。リハセンによるこそ！緊張の中で、新たな仕事への喜びと期待が表情に表れています。迎える私たちにとっても、若い頃の元気と緊張感を思い出させてくれます。みんなで暖かく見守り、育てていきましょう。

学生から社会人になり、医療従事者としての第一歩を踏み出した今、感じたことを書いてくれました。

看護管理室



T・U

リハセンに就職して、早くも2か月が経過しました。看護師になるために、日本赤十字看護大学で4年間勉学に励んできました。

日々の勤務の中で、学生時代以上に学ばなければならないと痛感しています。医療者としての責任の重さを感じるとともに、社会人として看護師1年目として、身につけてはならないことが自分の課題として見えてきています。



病棟で働く先輩看護師のように、患者さんの個別性に合わせた良質な看護の提供を目指します。

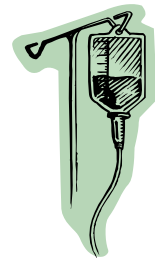
そして、社会人としてのルールを守り、当たり前のことを当たり前でできる看護師になりたいと思います。



K・I

病棟に配属されてから、2か月が過ぎました。看護師として働けるということ、今まで支えてくれた人たちに、感謝の気持ちでいっぱいです。

病棟スタッフとの新しい出会いがあり、毎日が学びの連続です。看護技術や知識だけでなく、患者さんとの接し方など多くのことを学ぶ日々です。同時に、自分の未熟さを痛感し、まだ一日一日を大切に過ごすことで精いっぱいです。



今後も新鮮な気持ちを持ち続け、目標をしっかりと持って、患者さんからの信頼を得られるように努力していきます。

また、リハセンで働く他職種の方と積極的に関わることで、広い視野を身につけて患者さんやその家族に最善の看護を提供したいと思います。